

…伝説よ、再び。そして未来へ…

山下和仁 ギターリサイタル

〈ゲスト：山下 紅弓〉

【プロフィール】



© photo by Tai Tsutomu

山下和仁 〈Guitar〉

<https://kazuhitoyamashita.com/>

YAMASHITA Kazuhito

1961年長崎市に生まれ。8歳より、父・山下亨にギターを学ぶ。また作曲家の小船幸次郎に師事。15歳で全国コンクール（現：東京国際ギターコンクール）優勝のあと、1977年、16歳でラミレス、アレクサンドリア国際、パリの世界三大国際ギターコンクールに、いずれも史上最年少優勝という快挙を成し遂げた。LP、CD合わせてこれまでに89枚のアルバムを発表。自身の編曲による〈展覧会の絵〉が大反響を得たほか、〈火の鳥〉〈シェヘラザード〉〈新世界より〉などオーケストラ用大曲をギター用に次々アレンジ、さらに「バッハ：無伴奏ヴァイオリン、チェロ、フルート、リュート組曲 BWV995-1013(5CDs)」を全て編曲。

かたわら「F. ソル：ギター曲全集(16CDs)」「M. カステルヌオーヴォ＝テデスコ：ゴヤによる24のカプリチオス」「プラテロ口とわたし」など、ギター本来のレパートリーも名演の誉れ高く、広大なレパートリーを有する。ウィーン・ムジークフェライン大ホール、ロシア・サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー大ホール、カペラ劇場、モスクワ・ザリャジエ大コンサートホール、イタリア・テアトロオリンピコ、テアトロ・レヅジョ、ニューヨーク・リンカーンセンター、シカゴ・シンフォニーセンターオーケストラホール、など世界各地でソロリサイタル。世界のトップアーティストたちとも数々共演。『黎明期の日本ギター曲集』で平成11年度文化庁芸術祭大賞を受賞。



© photo by Hideyuki Sugawa

山下紅弓 〈Guitar〉

<https://koyumiyamashita.com/>

YAMASHITA Koyumi

山下和仁の長女。2003年 東京・浜離宮朝日ホールでの山下和仁リサイタルでデュオとして出演（当時小学4年生）、以後デュオとして、翌2004年にローマ国際ギターフェスティバル、長崎、大阪、ソウルアートセンター大ホール（2005）、イタリア・アレクサンドリア国際ギターフェスティバル、名古屋・しらかわホール、ヴェトナム・フエ・ロイヤル劇場（2006）、東京・トッパンホール、ポルトガル・サントティルソ国際ギターフェスティバル、スペイン・コルドバ国際ギターフェスティバル、アメリカ・サンフランシスコ（2007）、トリノ、シンガポール（2010）などに出演。

同2010年に名古屋にてソロデビューも果たす。2011年、再びコルドバ国際ギターフェスティバルに招かれ、以後、チェコ、ハンガリー、イタリア各地、兵庫県立芸術文化センター、韓国・ソウル芸術の殿堂 IBKホール、福岡でも演奏。2016年にはトリノ音楽祭で「フェルナンド・ソルの夕」を開催。2017年には、デュオCDアルバム「ランクラージュマン」を発表。奈良・春日大社第六十次式年造替での特別演奏のほか、東京・紀尾井ホールにも出演。2019年には浜離宮朝日ホールでの「フェルナンド・ソルの夕」でも「ロシアの思い出」ほか数々の名曲を披露したほか、熊本県立劇場でも演奏した。2020年3月にはロシア・カザン国際ギターフェスティバルにも特別招待され、和仁、紅弓それぞれがオーケストラと共演したほか、ギターデュオでリムスキー・コルサコフ作曲のシェヘラザードより「カランダール王子の物語」および「若い王子と王女」を演奏した。熊本大学理学部、九州大学大学院理学府修了。

三井住友海上 しらかわホール

住所：名古屋市中区栄 2-9-15

地下鉄伏見駅5番出口徒歩3分

アクセス

地下鉄（東山線・鶴舞線）「伏見」下車 5番出口を
まっすぐ南へ 150メートル

「三蔵」の交差点（ポーラビル）の角を左折してすぐ隣のビル

